7/22 国際協力機構（JICA）のボランティア事業

JICA 海外協力隊派遣前表敬訪問

市内在住の福田篤正氏が、令和８年８月から令和10年８月まで、JICA海外協力隊として、ホンジュラスへ派遣されます。

福田氏は、サンタバルバラ県ガララ市の市役所へ配属され、現地の方と協力しながら、主に小中学校の児童生徒や幼稚園児を対象に、ごみ処理問題や自然環境保全の啓発などの環境教育を行います。

福田氏の活動が有意義なものになることを期待しています。

7/26 動く手術車がやってきた！

陸上自衛隊野外手術システム県内初公開

那須与一伝承館特別企画展「近代看護の先駆者・明治のナイチンゲール大関和」の関連企画として、陸上自衛隊の移動式手術設備「野外手術システム」（手術車と手術準備車）を県内で初めて公開しました。

会場では自衛隊仕様の救急車の展示や制服着用体験なども行われ、雨天にもかかわらず多くの来場者で賑わいました。同展では、陸上自衛隊衛生学校医学情報史料室「彰古館」が所蔵している明治時代の手術道具を11月３日㊋㊗まで展示していますので、ぜひご覧ください。

7/26 江戸時代の技法を体験

大関組紐体験ワークショップ開催

那須与一伝承館特別企画展「近代看護の先駆者・明治のナイチンゲール大関和」の関連企画として、大関組紐の体験会を行いました。大関組紐は、黒羽藩第11代藩主大関増業が編さんした兵学書『止戈枢要』に収録された技法を現代に再現した地域ブランドです。

参加者は、大関社中の根橋氏からレクチャーを受け、一つ一つの工程を楽しみながら組紐作りに挑戦し、江戸時代の黒羽で育まれた歴史と文化に思いをはせながら、色鮮やかな組紐を完成させました。

7/30 文化財を活かしたまちづくりに、若い力を

国士舘大学との連携協定締結

協定締結となったこの日、相馬市長から国士舘大学眞保昌弘教授に対し、「大田原市における文化財等の調査・研究等に関する連携協定書」が手渡されました。

この協定は、文化財の保存・活用を推進する本市と、考古学および日本史学分野の調査・研究と人材育成を推進する国士舘大学が連携・協力することで、次代を担う人材の育成と本市における文化財の保存・活用の推進に寄与することを目的としています。

7/29 ～ 8/9 スコットランドの風、大田原に吹く！心を通わせた12日間

スコットランド・セントアンドリュースとの高校生交流事業

英セントアンドリュースから留学生が本市を訪れ、市内在住の高校生がいるホストファミリー宅で過ごしました。日本の生活や伝統文化に触れ、さまざまな交流をして、とても充実した 12 日間となりました。

言葉の壁を越えて家族の一員として過ごした日々は、双方にとってかけがえのない宝物となり、国境を越えた深い絆で結ばれる素晴らしい機会となりました。

大田原市高校生交流事業は、相互の生活や文化、伝統への理解を深めるとともに、海外派遣を通じて異文化に触れることで、豊かな国際感覚を身に付けることを目的に実施しています。

今回のホームステイやさまざまな体験を通じた交流が、参加した高校生たちの視野を大きく広げ、将来世界で活躍するための第一歩となること、そして両地域の友好の架け橋となることを心から期待しています。